

和歌山県の農林水産業の概要

特徴・取組

和歌山県は、紀伊半島の南西部にあって、北は大阪府、東は奈良県と三重県、南は熊野灘に接し、西は紀伊水道をはさんで徳島県と向かい合っている。面積の8割以上を山地が占め、平野はかなり少なく、紀の川流域の和歌山平野と有田川や日高川の下流に小さな平野が広がっている。気候は、県北部が瀬戸内海式気候で、年間を通じて天気や湿度が安定しており、降水量も少ない。南部は太平洋岸式気候で、黒潮の影響を受け温暖で台風の影響を受けやすく極めて降水量の多い地域もある。また、日照時間が長く、夏は比較的涼しく、冬は暖かい傾向がみられる。

和歌山県の産業は産出額でみると、製造業の構成比が最も高く、なかでも鉄鋼、石油、化学の3分野で約7割を占めている。また、ニット、パイル等の繊維や皮革等の素材関連産業、漆器、家庭用品、家具、建具等の生活関連産業等が集積し、数多くの産地が形成されている。主な産業は和歌山市を中心とする北部地域に集中している。

農業は、紀北地域のかき、もも、紀中地域のみかん、紀中・紀南地域のうめなど県内全域で果樹栽培が盛ん。果樹の生産は産出額や栽培面積において県全体の6割以上を占め、本県農業の基幹作物となっている。

林業は、古くから「紀州・木の国」と呼ばれ、すぎ、ひのきなどの優良材の生産県として全国に知られている。また、白炭（紀州備長炭）は全国有数の生産量を誇る。

水産業は、内海性の瀬戸内海と外洋性の太平洋に二分され、それぞれの海域特性に応じて各種漁業が営まれている。内水面では紀の川、有田川、日高川及び富田川周辺地区で、清流の伏流水を利用したあゆの養殖業が営まれている。

和歌山県では、令和7年度の重点施策として、農林水産業の担い手確保や育成、生産性向上、販路開拓などによる第一次産業の活性化や、大阪・関西万博や世界遺産を活かした観光産業の強化、外国人労働者の受入促進など持続可能な産業構造の構築に取り組むこととしている。主な新規事業は、食品加工及び開発の専門技術者育成により、豊富な果樹等を活かした新たな加工品の開発等を支援するほか、漁業の担い手の確保及び育成を図るため、新たに雇用型漁業の親元研修や漁業に必要な資格取得を支援することとしている。

また、木材生産コストの低減及び森林整備の促進を図るため、林道整備の加速化に向け、林道整備事業の予算を拡充している。

主な農林水産物

みかん

収穫量は20年連続日本で全国の約2割を占める。有田地方のみかんは有田みかんとして有名。
(収穫量全国1位)



うめ

みなべ町、田辺市を中心に栽培され、収穫量は全国の約6割を占める。主な品種は、南高、古城等。
(収穫量全国1位)



かき

紀北地域を中心に栽培され、収穫量は全国の約2割を占める。主な品種は、刀根早生等の渋柿が約8割を占める。
(収穫量全国1位)



ハッサク（八朔）

紀北地域を中心に栽培され、収穫量は全国の約7割を占める。
(収穫量全国1位)



スターチス

紀中地域を中心に栽培され、出荷量は全国の約6割を占める。近年、作付面積が増加している主力花き。
(出荷量全国1位)



グリーンピース

紀中地域を中心に栽培され、収穫量は全国の約4割を占める。主な品種は、うすいえんどう。
(収穫量全国1位)



くろまぐろ

平成14年、串本町で世界で初めてくろまぐろの完全養殖に成功。収穫量は全国の約1割を占める。
(収穫量全国6位)



いせえび

熊野灘を中心に漁獲され、漁獲量は全国の約1割を占める。
(漁獲量全国3位)



あゆ

県内各地で養殖され、収穫量は全国の約2割を占める。
(収穫量全国3位)



白炭

紀中地域を中心に生産され、生産量は全国の約3割を占める。白炭は紀州備長炭として知られている。
(生産量全国2位)



和歌山県内の各地域における農林水産物

紀中地域

【農畜産物】みかん、うめ、グリーンピース、ハッサク（八朔）、キヨミ（清見）（かんきつ類）、シラヌヒ（デコポン）、セミノール（かんきつ類）、サンショウ、すいか、トマト、きゅうり、スターチス、宿根かすみそう、ブロイラー

【林産物】白炭、木・竹酢液

【水産物】いわし、あじ、たちうお、あゆ

紀南地域

【農畜産物】うめ、みかん、すもも、シラヌヒ（デコポン）、じゃばら、茶、ガーベラ、乳用牛

【林産物】すぎ、ひのき、生しいたけ

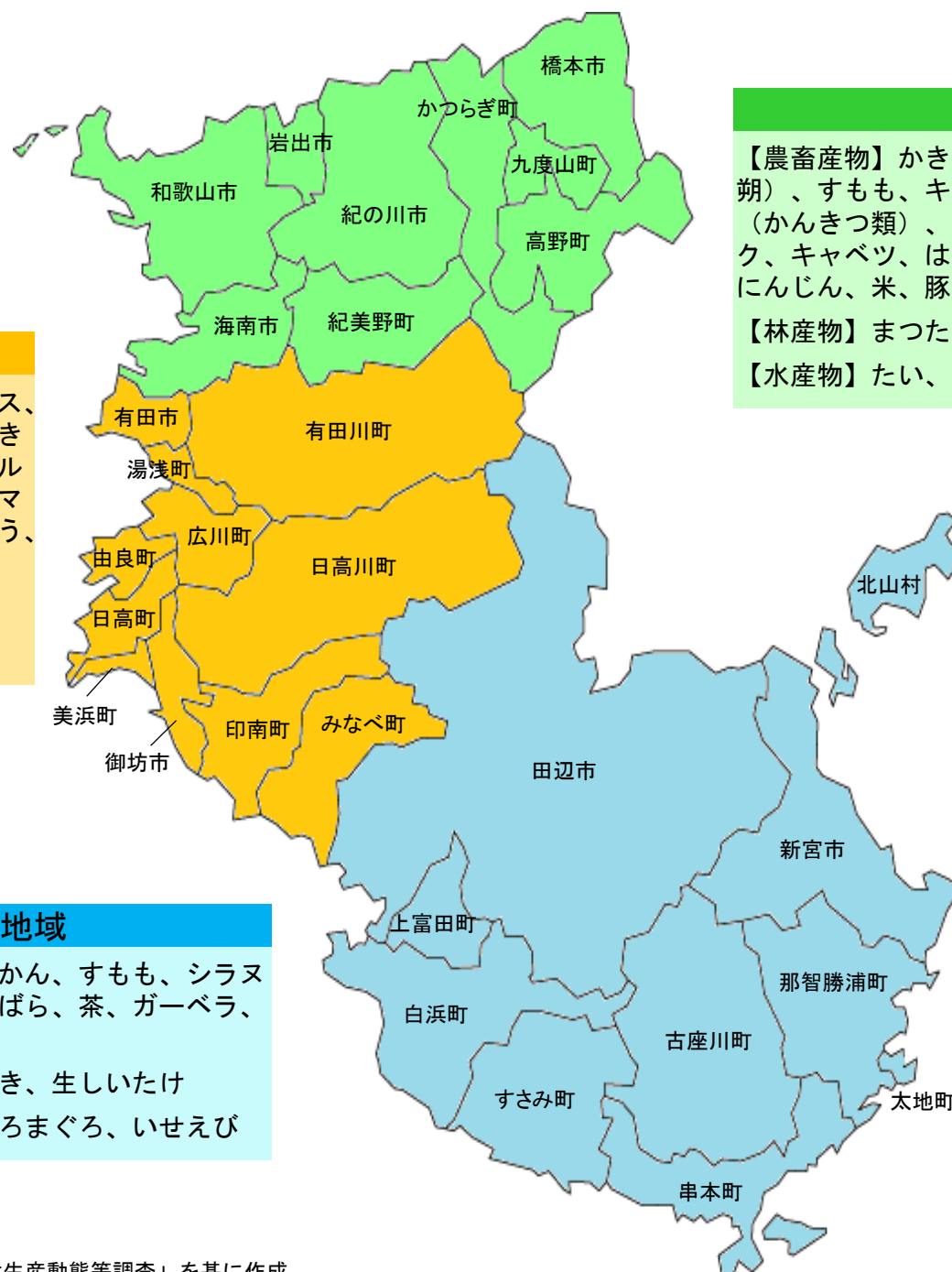
【水産物】かつお、くろまぐろ、いせえび

紀北地域

【農畜産物】かき、みかん、もも、ハッサク（八朔）、すもも、キウイフルーツ、キヨミ（清見）（かんきつ類）、シラヌヒ（デコポン）、イチジク、キャベツ、はくさい、たまねぎ、だいこん、にんじん、米、豚、採卵鶏

【林産物】まつたけ

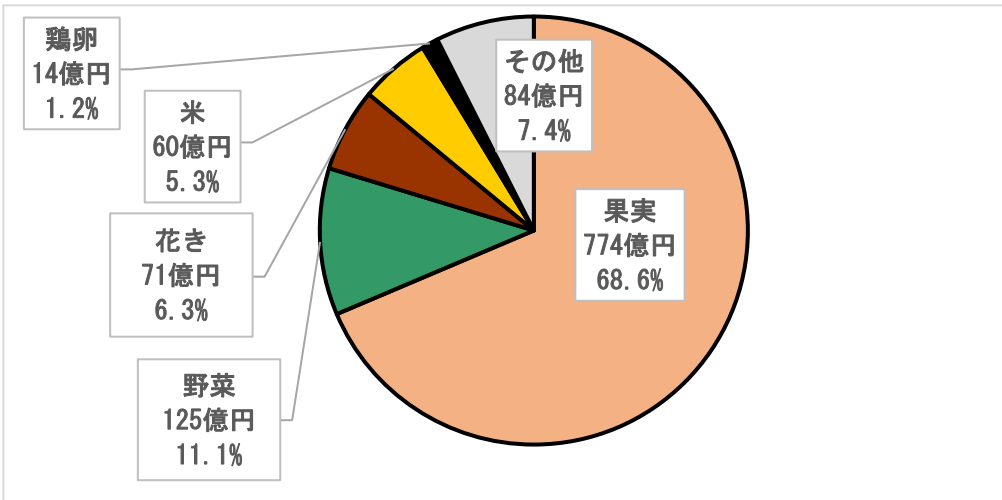
【水産物】たい、あゆ



和歌山県の農業（１）

- ・農業産出額は1,128億円で全国32位。うち米が60億円（5.3%）、野菜が125億円（11.1%）、果実が774億円（68.6%）、畜産が41億円（3.6%）。
- ・農畜産物の生産状況は、グリーンピース、みかん、うめ、かき、スターチス、イチジク、セミノール、ハッサク（八朔）、サンショウが全国１位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分	年次	和 歌 山 県	全 国	全国順位
グリーンピース 収穫量	R5	1,850 t	4,410 t	1
みかん 収穫量	R5	143,900 t	681,600 t	1
うめ 収穫量	R6	29,700 t	51,600 t	1
かき 収穫量	R5	37,900 t	185,200 t	1
スターチス 出荷量	R5	64,200 千本	113,300 千本	1
イチジク 収穫量	R4	1,768 t	9,891 t	1
セミノール 収穫量	R4	1,295 t	2,426 t	1
キヨミ（清見） 収穫量	R4	5,208 t	12,009 t	2
ハッサク（八朔） 収穫量	R4	17,681 t	23,921 t	1
サンショウ 収穫量	R4	277 t	497 t	1

出典：「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」

農業産出額のデータ

区 分	和歌山県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	1,128 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	32
米	60 億円 (5.3)	15,193 億円 (16.0)	43
麦類	x 億円	678 億円	- *
雑穀	0 億円	77 億円	44
豆類	0 億円	572 億円	44
いも類	2 億円	2,301 億円	47
野菜	125 億円 (11.1)	23,243 億円 (24.5)	42
果実	774 億円 (68.6)	9,590 億円 (10.1)	4
花き	71 億円	3,522 億円	16
工芸農作物	11 億円	1,467 億円	17
その他作物	x 億円	585 億円	- *
畜産	41 億円 (3.6)	37,212 億円 (39.2)	45
肉用牛	9 億円	7,696 億円	44
乳用牛	6 億円	9,249 億円	47
生乳	6 億円	8,310 億円	47
豚	1 億円	7,194 億円	47
鶏	19 億円	12,033 億円	43
鶏卵	14 億円	7,413 億円	43
ブロイラー	5 億円	4,471 億円	36 *
その他畜産物	5 億円	1,041 億円	12
加工農産物	16 億円	513 億円	7

出典：「令和5年農業総産出額及び生産農業所得（全国）」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得（都道府県別）」
注：（ ）は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの（例：0.4t→0t）

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

和歌山の農業（ 2 ）

- ・耕地面積は3万700haで全国38位。うち田が8,930ha、畑が2万1,800ha。
- ・農業経営体数は1万8,141経営体で全国28位。うち法人経営体が154経営体で44位。
- ・市町村認定及び都道府県認定経営体数は2,282経営体で全国29位。うち法人数が106法人で45位。
- ・農業生産関連事業は、農産加工の年間販売（売上）金額が204億円で全国19位、事業体数は960事業体で6位。

耕地面積

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
耕地面積	30,700 ha	4,272,000 ha	38
田	8,930 ha	2,319,000 ha	42
畑	21,800 ha	1,952,000 ha	21
普通畑	2,240 ha	1,118,000 ha	44
樹園地	19,500 ha	248,600 ha	3
牧草地	30 ha	585,900 ha	43
参考）総土地面積	4,724.66 km ²	377,975.68 km ²	30

出典：「令和6年耕地面積（7月15日現在）」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」（国土交通省国土地理院）

荒廃農地面積

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	3,001 ha	256,676 ha	31

出典：「令和5年度の荒廃農地面積（令和6年3月31日現在）」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
農業経営体数	18,141 経営体	1,075,705 経営体	28
法人経営体	154 経営体	30,707 経営体	44
総農家数	25,263 戸	1,747,079 戸	33
販売農家	17,250 戸	1,027,892 戸	29
参考）世帯総数	394,483 世帯	55,830,154 世帯	39
集落営農数	8 集落営農	13,998 集落営農	42

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）、「令和6年集落営農実態調査結果（令和6年2月1日現在）」

担い手への農地の集積状況

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	9,947 ha	2,593,345 ha	37
集積率	32.1 %	60.4 %	35

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和5年度版）」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	27,202 人	1,363,038 人	24
男	15,150 人	822,144 人	24
女	12,052 人	540,894 人	20
65歳以上	17,394 人	948,621 人	25
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	63.9 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	2,282 経営体	216,784 経営体	29
法人数	106 法人	29,128 法人	45
参考）人口総数	922,584 人	126,146,099 人	40

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「認定農業者の認定状況（令和6年3月末現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 20,371 百万円 事業体数 960 事業体	999,786 百万円 27,760 事業体	19 6
農産物直売所	総額 17,054 百万円 事業体数 200 事業体	1,126,420 百万円 21,240 事業体	32 37
観光農園	総額 311 百万円 経営体数 60 経営体	37,281 百万円 5,050 経営体	32 21
農家民宿	総額 43 百万円 経営体数 10 経営体	5,352 百万円 1,140 経営体	25 * 26
農家レストラン	総額 297 百万円 事業体数 10 事業体	39,434 百万円 1,360 事業体	40 * 43

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

和歌山県の林業

- ・林業産出額は42.7億円で全国29位。うち木材生産が16.5億円、栽培きのこ類生産が17.5億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国30位、白炭、くろあわびたけが全国2位、木酢液等が7位。

林業産出額

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
林業産出額	42.7 億円	5,562.5 億円	29
木材生産	16.5 億円	3,257.0 億円	31
栽培きのこ類生産	17.5 億円	2,199.2 億円	25

出典：「令和5年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
素材生産量	154 千m ³	20,647 千m ³	30
針葉樹	154 千m ³	18,926 千m ³	28 *
すぎ	99 千m ³	11,917 千m ³	31
ひのき	55 千m ³	3,180 千m ³	19 *
広葉樹	0 千m ³	1,721 千m ³	40 *
白炭	生産量 927 t	2,899 t	2 *
なめこ	生産量 101 t	23,752 t	15 *
くろあわびたけ	生産量 23 t	99 t	2 *
木酢液等	生産量 11,008 l	1,711,055 l	7 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
林野面積	360,130 ha	24,770,201 ha	25
国有林	16,470 ha	7,153,338 ha	35
民有林	343,660 ha	17,616,863 ha	21
人工林面積	219,472 ha	10,133,111 ha	17

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
製材工場数	91 工場	3,749 工場	16
製材用素材の入荷があった工場数	91 工場	3,722 工場	16
国産材のみ	81 工場	3,116 工場	15
国産材と輸入材	7 工場	511 工場	27

出典：「令和5年木材統計」

林業経営体数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
林業経営体数	340 経営体	34,001 経営体	35
法人経営体	57 経営体	4,093 経営体	30

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

和歌山の漁業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は148億円で全国28位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のいせえびが全国3位、いさきが7位、海面養殖業のくろまぐろ、まだいが6位、内水面養殖業のあゆが3位。
- ・漁業生産関連事業は、水産物直売所の年間販売（売上）金額が23億円で全国3位、事業体数は10事業体で20位。

漁業産出額

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	148 億円	15,265 億円	28
海 面 漁 業	84 億円	9,534 億円	26
海 面 養 殖 業	63 億円	5,731 億円	19

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	1,279 経営体	65,662 経営体	21
内水面漁業経営体数	17 経営体	4,076 経営体	39

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	1,896 人	121,389 人	24
男	1,830 人	109,757 人	23
女	66 人	11,632 人	26

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
漁船隻数	1,943 隻	109,283 隻	22
動力漁船	1,416 隻	58,906 隻	17

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	15,547 t	3,777,921 t	32 *
海面漁業漁獲量	12,501 t	2,926,411 t	30
いせえび	101 t	1,090 t	3
いさき	161 t	3,194 t	7
海面養殖業収穫量	3,046 t	851,509 t	23 *
くろまぐろ	1,041 t	16,200 t	6 *
まだい	1,849 t	67,257 t	6 *
内水面漁業・養殖業生産量	624 t	51,908 t	13 *
内水面漁業漁獲量	8 t	21,567 t	30 *
あゆ	5 t	1,697 t	19 *
内水面養殖業収穫量	616 t	30,341 t	11 *
あゆ	599 t	3,385 t	3 *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	和 歌 山 県	全 国	全国順位
水産加工	総額	2,565 百万円	179,159 百万円
	事業体数	10 事業体	1,220 事業体
水産物直売所	総額	2,348 百万円	34,988 百万円
	事業体数	10 事業体	810 事業体
漁家民宿	総額	84 百万円	5,389 百万円
	経営体数	10 経営体	540 経営体
漁家レストラン	総額	1,046 百万円	13,249 百万円
	事業体数	10 事業体	380 事業体

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

和歌山県の農林水産業の話題等（１）

「あら川の桃」が地理的表示（GI）に登録

令和５年７月、「あら川の桃」が地理的表示（GI：Geographical Indication）保護制度に登録された。和歌山県内の農産物では令和３年５月に登録された「わかやま布引だいこん」に次ぐもので、果物では初めての登録となる。

「あら川の桃」は、江戸時代から栽培が行われ、西日本最大の生産を誇る紀の川市桃山町を主産地とする「ブランド桃」で、長年、生産地で培われた栽培技術により、色味や玉揃い等の外観に優れ、食味が良好であることが特徴。

卸売市場では他産地に比べ高価格で取引されており、百貨店等ではお中元などの贈答用として引き合いが強い。

生産地では、「桃」の開花期になると桃源郷を思わせる絶景が広がり、出荷期には「あら川の桃」を少しでも安く手に入れようと多くの消費者が訪れる。



あら川の桃

令和６年産うめが記録的な不作に

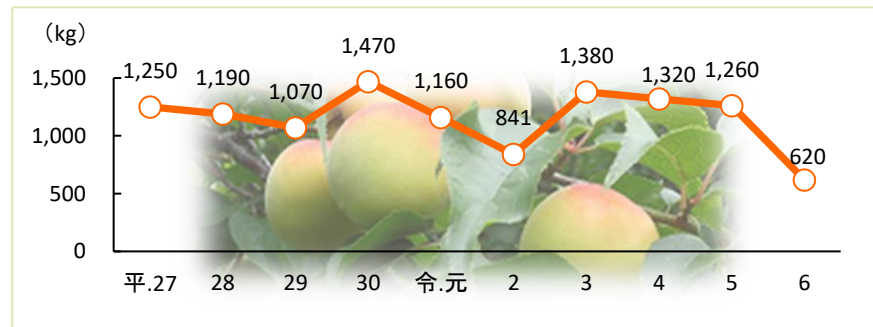
令和６年産のうめ収穫量は２万９、７００ｔで、前年産に比べ５１％した。これは、開花前の気温が高かったことから開花が早まり、受精不良となって着果数が減少したことに加えて、春先の降ひょうによる被害が多発したこと等による。

和歌山県ではひょう被害を受け、農協を融資機関とする知事特認の特別融資（上限２００万円、利子は県、市町村、農協が負担）を実施したほか、記録的な不作に伴う加工原料不足を踏まえ、生産、加工、販売が一体となって形成されるうめ産地の安定化に向けて、「うめ産地安定化特別対策事業（令和６年度１２月補正予算）」の予算を措置し、うめ栽培の省力化に資する機器の導入に要する経費の支援（農業参入事業）や梅干原料の備蓄に必要な資材の導入に要する経費の支援（原料備蓄事業）を実施。

また、令和７年４月６日から１５日にかけて数度に渡り発生した降ひょうにより、傷果、落果、枝折れ等の被害が広範囲に発生し、被害額は過去最高となる見込みで、令和７年産の作柄への影響が懸念されている。



令和７年産うめのひょう被害の状況（左：傷果 右：落果）



うめ10a当たり収量の推移（和歌山県）

和歌山県の農林水産業の話題等（２）

世界農業遺産への認定申請

令和５年１月、和歌山県「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」（海南市、有田市、湯浅町、広川町、有田川町）が世界農業遺産への認定申請に係る承認地域として決定され、令和５年１０月、国際連合食糧農業機関（ＦＡＯ）に世界農業遺産認定申請書を提出。今後、ＦＡＯによる書類審査、現地調査を経て認定の可否が決まる予定。一方、平成２７年１２月に認定された世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」は本年１０周年を迎える。

【有田・下津地域の石積み階段園みかんシステムの概要】

長峰山脈を挟んで隣接する有田地域・下津地域は、４００年以上前から農家が海岸部から内陸部の山頂付近まで壮大な石積み階段園を築き上げ、優良品種系統の導入による産地の形成、多様な地勢・地質に適応した栽培技術や独自の貯蔵技術（蔵出し）により、高品質な温州みかんを生産し、７か月に及ぶ長期リレー出荷を可能とした。２つの日本農業遺産認定地域（海南市下津地域の「下津蔵出しみかんシステム」と有田地域の「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」）が融合した伝統的農業システム。

みかんの産出額 ９年連続日本一

和歌山県では、平成２７年度からＪＡグループと連携し、温州みかんの市場評価を高めるため、糖度選別が可能な光センサー選果機を利用して厳選したみかんを市場に出荷する「みかんの厳選出荷」に取り組んでいる。

令和５年産みかんは、厳選出荷が徹底された結果、販売単価は上昇し、みかんの産出額は平成２７年から９年連続で日本一となった。

今後も、和歌山県は厳選出荷の徹底に加え、優良品種への改植、天候に左右されず高品質みかんの生産が可能なマルチ栽培の推進等により、販売単価の向上を図りながら、産出額１位を維持していくこととしている。

みかんの収穫量は、平成１６年産以降、２０年連続日本一を維持している。

（参考）令和５年産みかんの収穫量上位３県

①和歌山県 １４３,９００ｔ、②愛媛県 １１１,１００ｔ、③静岡県 ９９,８００ｔ

認定申請中の「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」

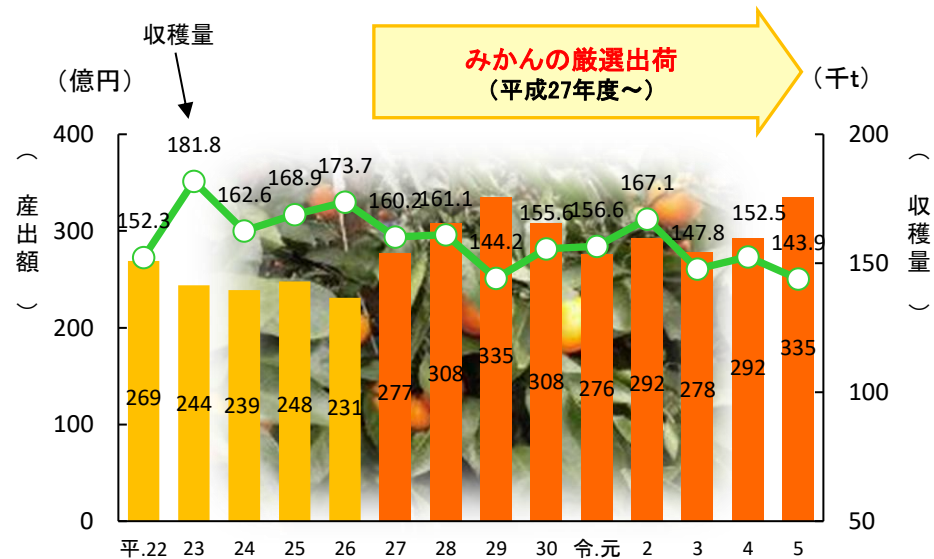


日本一の生産量を誇る有田地域の
みかん産地



下津地域のみかん産地
園内に設置した蔵で貯蔵し、糖酸
バランスを整えて年明けに出荷

世界農業遺産認定１０周年を迎える「みなべ・田辺の梅システム」



みかん産出額と収穫量の推移(和歌山県)